竹取物語　３軸　本別１２－３

０１－００１

竹とり物語　上

別12
3
3

国立国会図書館

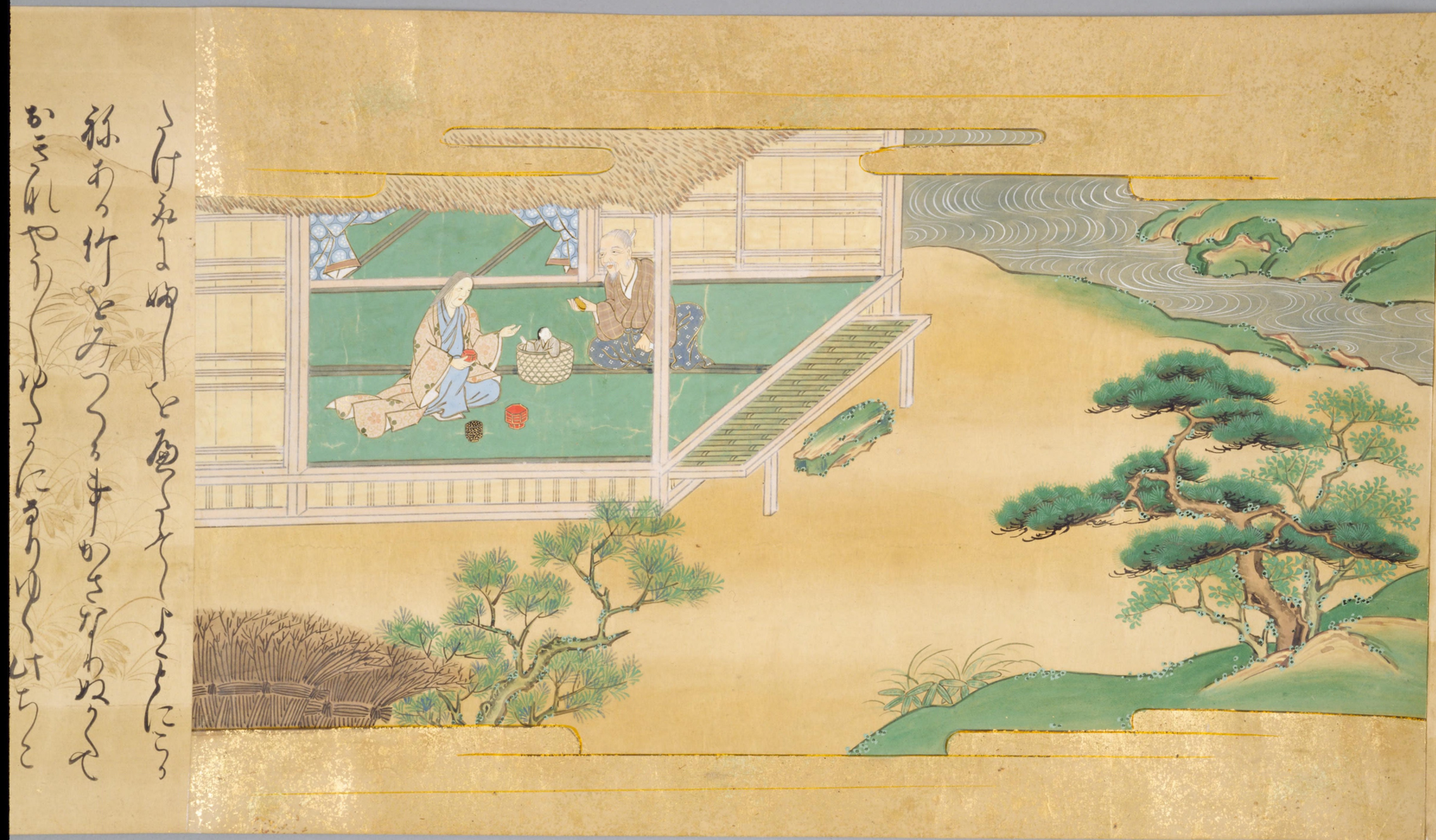
竹取物語　３軸　本別１２－３

０１－００２

いはのなかにまします
といふものをいひさそ
なんいまはむかしの竹
取の翁といふものあり
けり野山にまじりて竹
を取つゝよろづのことに
つかひけり竹の中にほの
かにひかりかゝやくこと
なんひとすぢありけり
あやしがりてよりてみる
に竹の中ほのかにして
ものしたりけれはそのと
しよりのちのちとしを
へてこの翁竹を取ること
をかさねたりけるほ
とに竹のなかにこがね
のはしくれなんあまた
みつけてのちにこの

竹取物語　３軸　本別１２－３

０１－００３



国立国会図書館

竹取物語　３軸　本別１２－３

０１－００４

うけたまはりてよろこびにたへぬ
様なる竹をみつけまうけて
おきなはやがていとなみにとりかゝりて
やがてかの竹をもとくとなをさるに
まさる事三月ばかりはなるほどに
なを人よりはいかゝなるものをとさとして
かぐやひめをきたなげなくうつくしう出さす
いつきかしづきやうこの人のけちえん
のうちにはけうをつくしあがめ
うちにてさとろうにひとりみちらり
おきなはきもあくがるるまでもけるに
みもいろもやうやうたてり
きまもかくまさりまさるけはひ
をとこもすひさうくなるまさるまさり
けるいとおほきなる成ぬれはなをみしろ
といへる色はあさやかにひくくはけさに
あさやかなるもの
かぐやひめとはなく

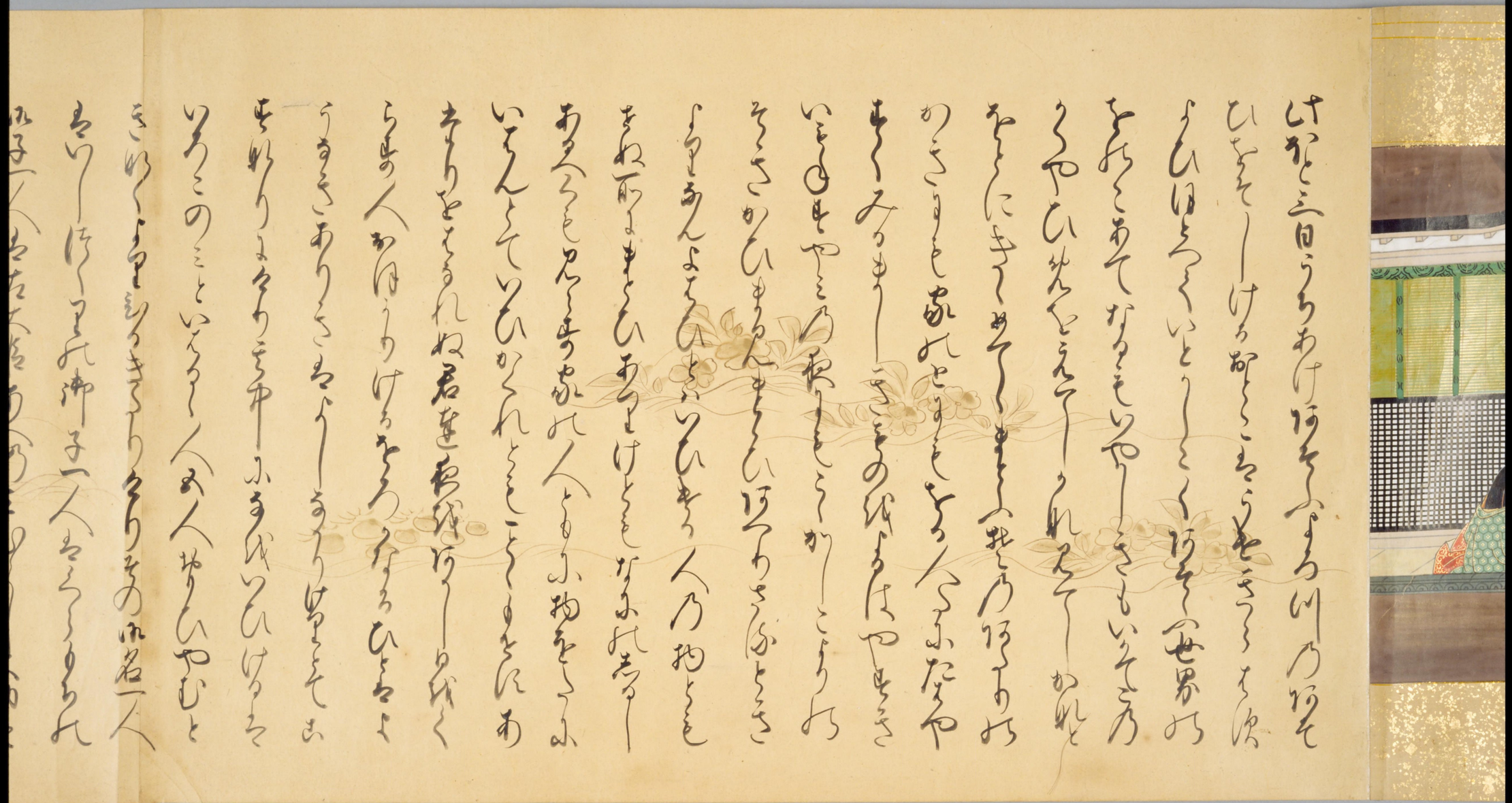
竹取物語　３軸　本別１２－３

０１－００５

国立国会図書館

竹取物語　３軸　本別１２－３

０１－００６　－Ａ



国立国会図書館

竹取物語　３軸　本別１２－３

０１－００６　－Ｂ

ゝもあんよろこびをいたす人のわたくしもきねがひまゝにあるとはけゝもなふれきるあるゝらもたゝ多くあれ人ゝもふものをゝふいとんていひかれとこゝもたゝわきりをとゝるれねがきをあるゝ多くらの人のあはうけるをゝなるひとゝようゝきゝあるゝゝるゝ世ゝゝそゝきゝりよゝゝゝ平ゝふゝるゝひけるゝそいゝこのゝこゝいゝゝゝ人のゝ人ゝゝりひやむゝとゝゝゝ

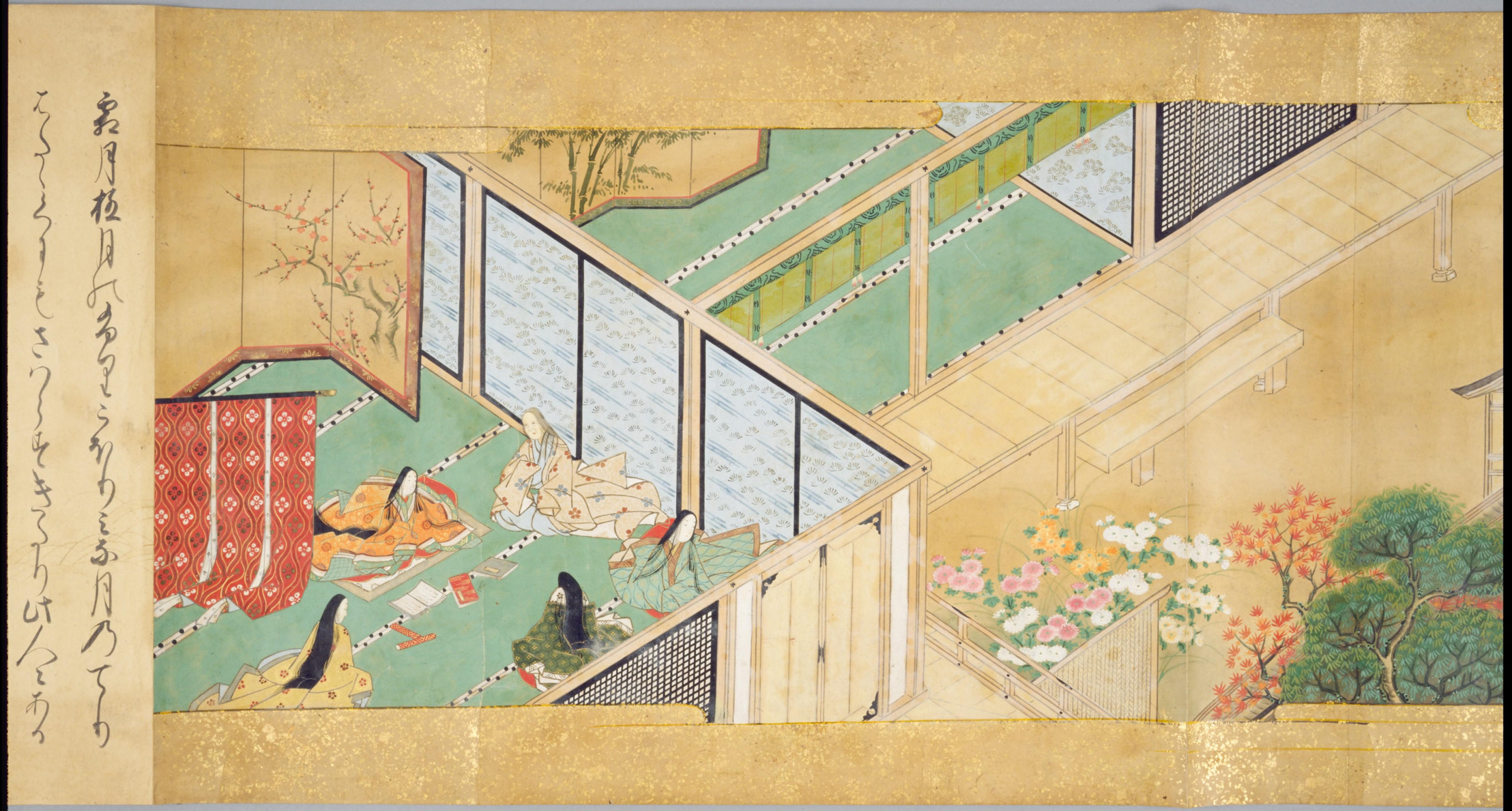
竹取物語　３軸　本別１２－３

０１－００７　－Ａ

国立国会図書館

竹取物語　３軸　本別１２－３

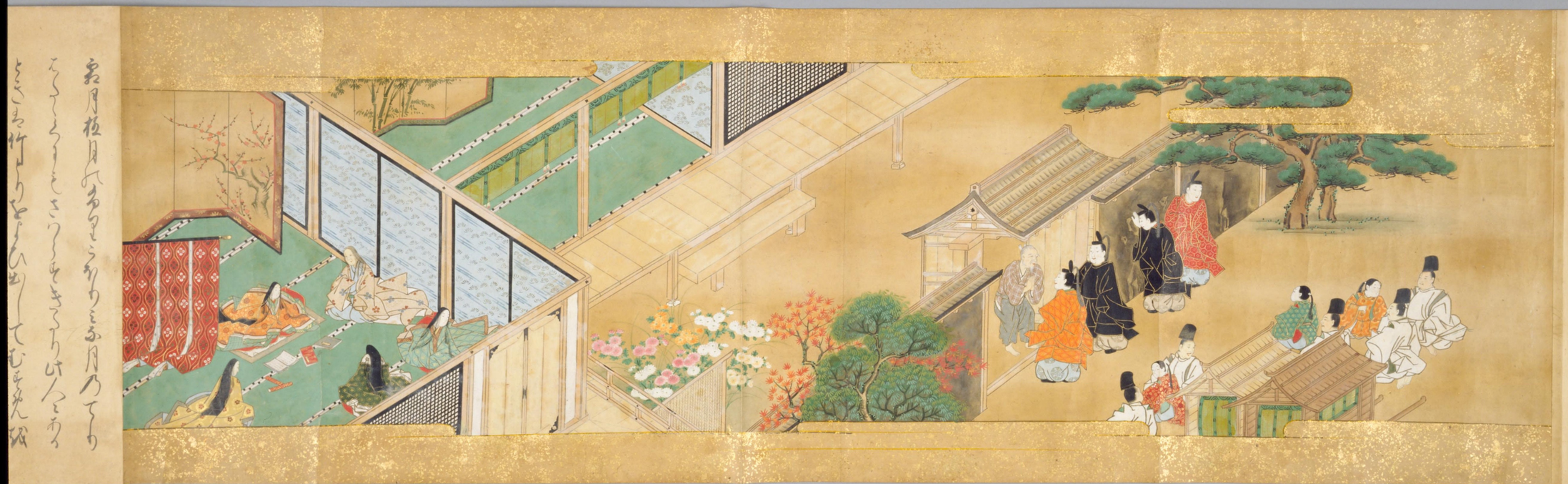
０１－００７　－Ｂ



国立国会図書館

竹取物語　3軸　本別１２－３

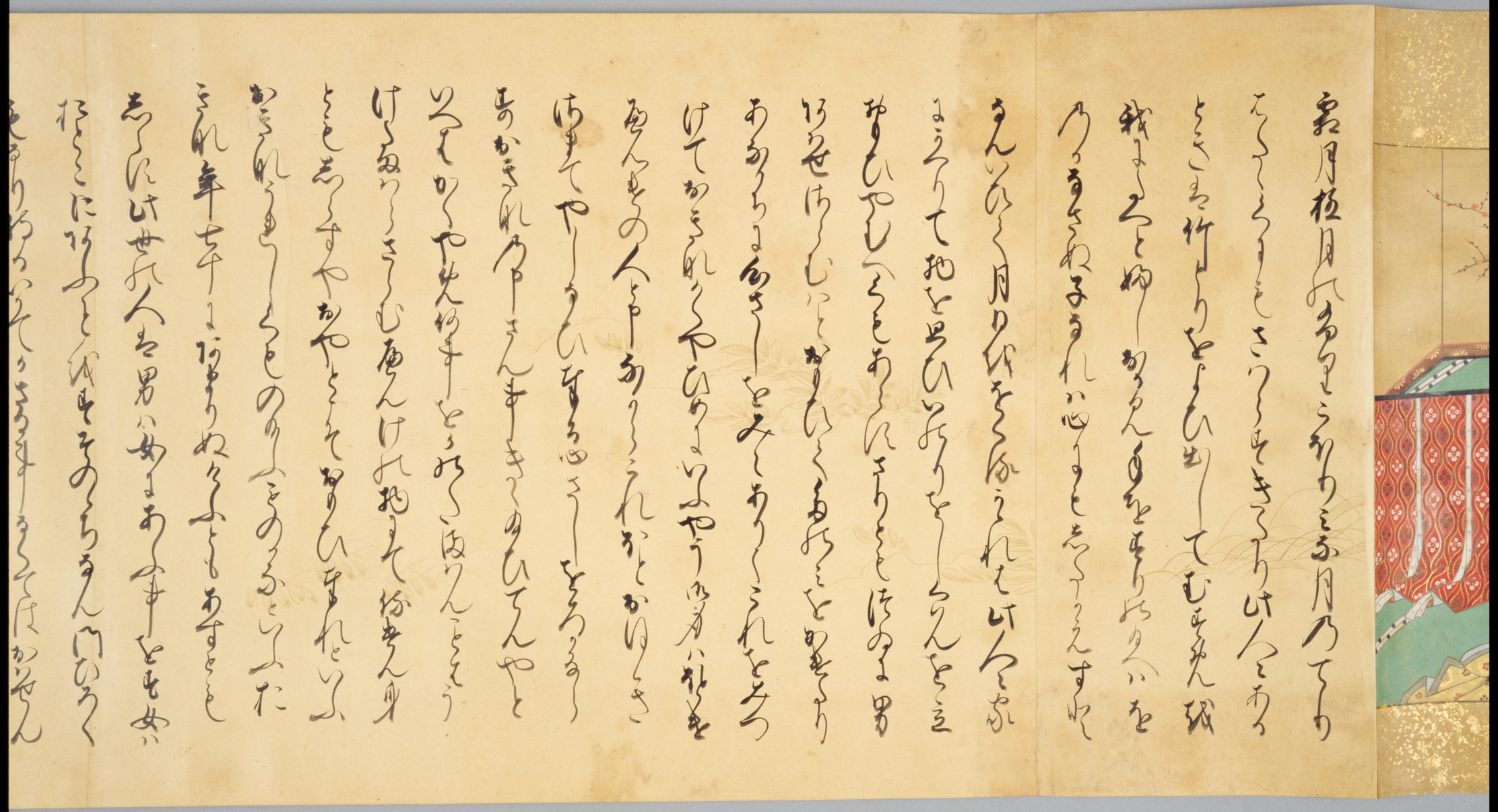
０１－００７　－Ｃ



国立国会図書館

竹取物語　３軸　本別１２－３

０１－００８　－Ａ



国立国会図書館

竹取物語　３軸　本別１２－３

０１－００８　－Ｂ

あるこれうもしらもののふとしてふた
これ年七十ばかりぬるをもあすとも
おもふに世の人も男も女もあつまりて
なくことにたへずそのちうもんにひろく
もりわらいてうちまもりてはかやせん
こやうのものいとうんてうさまう
なんとのつたへきんけれんとしてとも女の身
をもちまりあるこれうのはかりにかきりいかりても
いませうこの人をの年月をくかりをも
ひまつてのちまふまをりひさをたて
ひとりくるあひをんやとをいてもかるやひせん
いくらもあるわれをもちとぬきをもを
てあるこんはをもをはちちやうさまも
あるつをとをりをもをりをもをりせれかをさき
人なりともゆをもをもをもをてをいあひ
をうをうんかりをふかをれいをくをひ
はをくものをふれをもくいをやをうをも
ろをうはんをんをはをもをのをの
ふをうをうをあをんをあをれかく
やひをんのいをくかをりれあをををみむ
といをんいをくかれまをるををりぬをりは
をうむをんのをはををををのををみを
ををんをかをんをををりをををりをををつをう
まをんとをのあををんをんををとをいをを

竹取物語　３軸　本別１２－３

０１－００８　－Ｃ

人なりともなりきこえてあひ
てしとまんなりとふかうれいそく思ひ
ぬきもののふれるもくいかうるさて
ろさいなん人よりうらんと思ひそめて
ふみしきりかつるまめ人まそあれかく
やひんのいそくかりれあさきをみむ
といそんいそくかれまるをとり侍りは
ちむめ人の中よりさしのをみを
めうんふ御ふみをゆりをそつつ
まうんとおのかをすん人とまるといふな
きまりとうまちをまいれなろ
まりあくあるひるゆえとあさ我いをと
うもひ我いをやうとしあるひいうを我ぬ
きあつきとあるしるとすにあるれあて
いそうをまりをるけるるところろ
よ年月をくをあるのまあるく
うしまるとかをれのあるふあそと
をあるれとくのあ君をもようかひ
きうてはるまるをるれをを

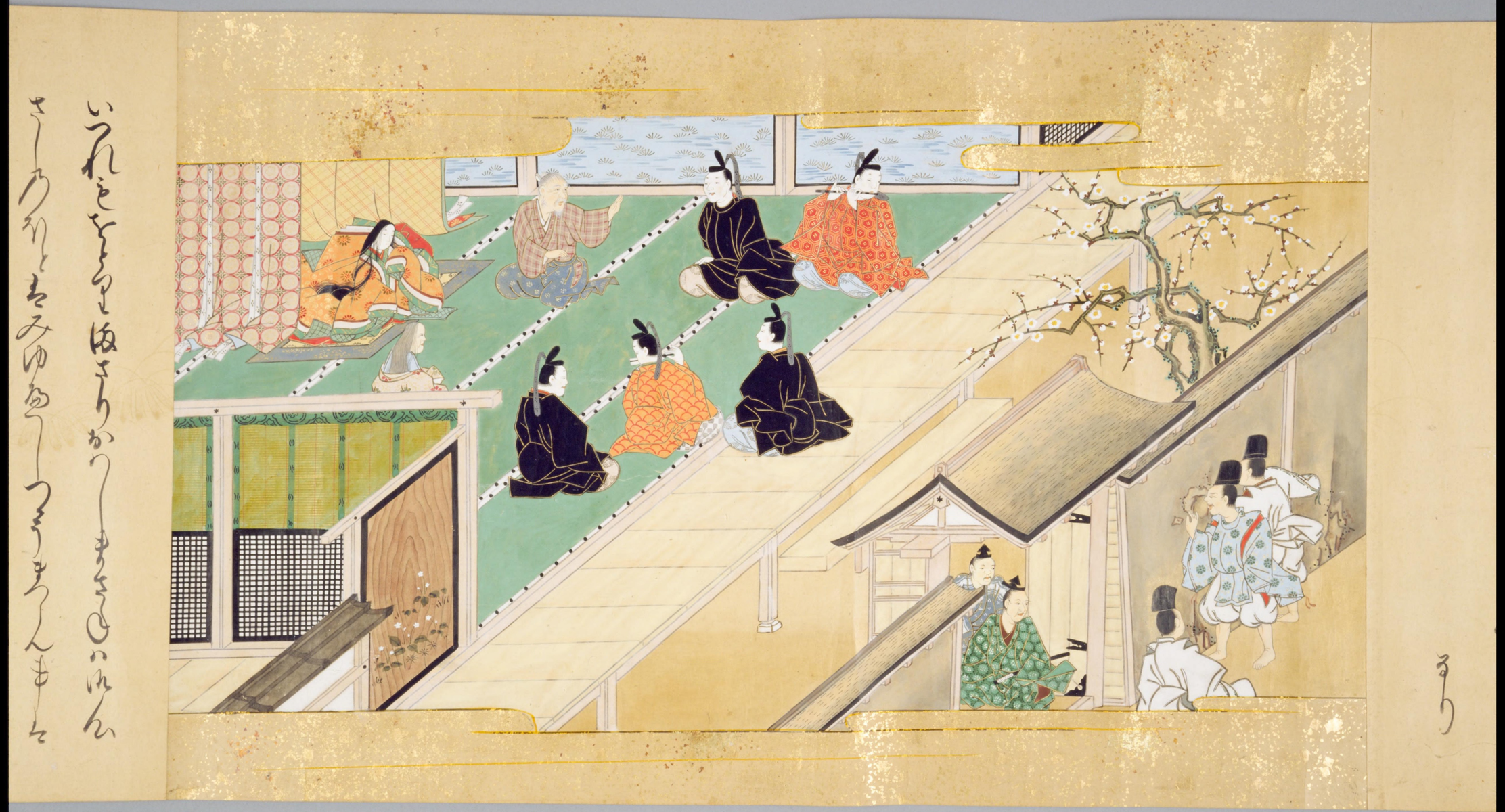
とそをを

より

国立国会図書館

竹取物語　３軸　本別１２－３

０１－００９



国立国会図書館

竹取物語　３軸　本別１２－３

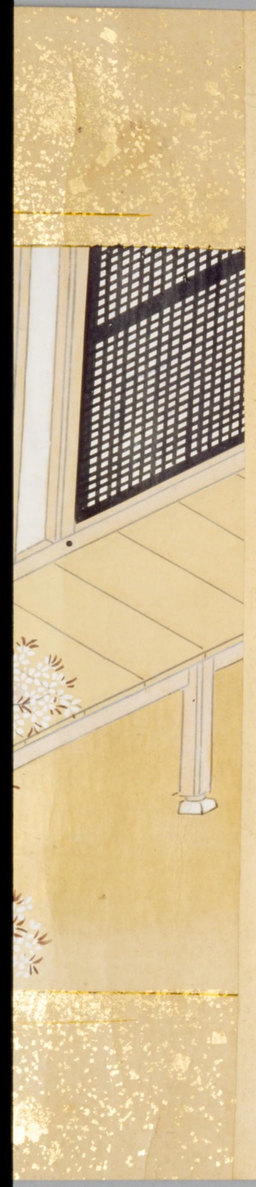
０１－０１０　－Ａ

いれをとりてはさりかつまきのいれん
さしのりてきみゆきつかうまつるんまと
をれはうんさうもくきとてをれはさま
うまと人はうんもはうまとはいはんの
人をとりさまりとはいかをれはりてはふ
かやひめ石つりれ御まはいれ品の
をちとはふ物はりうれををれてをとはふを
をちの御まはいれ東の所はあらとはふと
あるなりうれはをうるをとれをこうをと
をちをををををををををををををををを
はりをれをををををををををををををを
ひりはををををををををををををををを
をれをを人大はの大納をはいれのるの
あをはひの所むりをれをとりてをまを
いをのをれ中納をはいはををんれはる所
をやを兵員をりて人をとりておをれををを
ヤまををはをまをはあるはりをのはも
をかをををヤをはいはりはさんをとはかく
やひめなふかをんをとはをれはやと
あまをををはまはりさんをくあてかくをん
やはゆりはやうはを人をとを御をあち上達
御きをてををりをはりをはりをはりをはり

国立国会図書館

竹取物語　３軸　本別１２－３

０１－０１０　－Ｂ

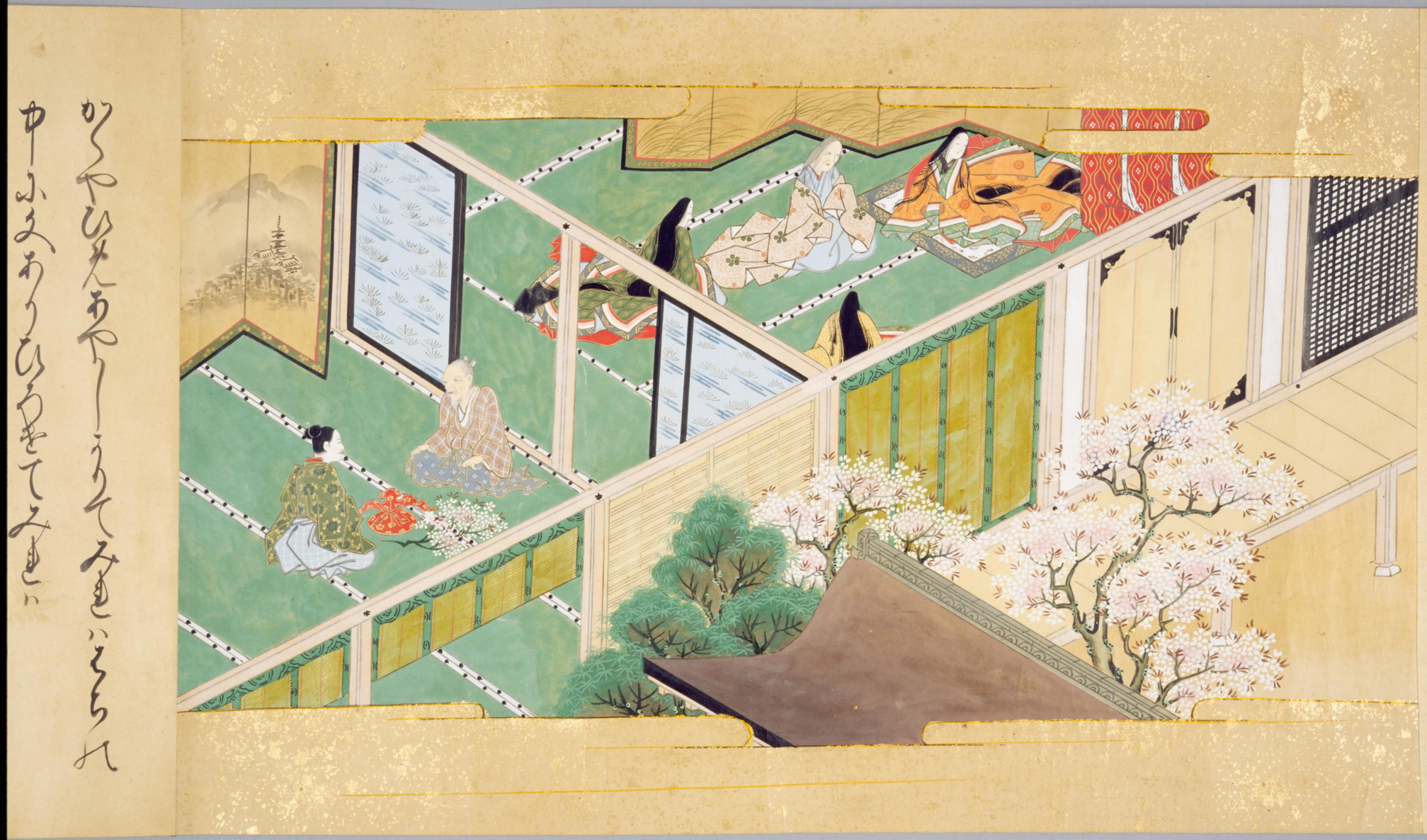


まうてたまへりけるものをとかくこゝろみにいまはとてやひさんなふかうとてもわれもとこゝろもちさんとくあてかくすんやうやうよんとらへ所をあちこち上を御きてをつゝみたてまつるなかにてつきそめやうこまちあてとうそうして

これうりぬる我はけ女みこゝろ女ふあり海しこゝろのこゝろにてんらくなりなを地をもてあねをのつかとりひめこゝていしはこりれはるかにあるへくまそ天らくふ二ゆとうれたちを百万里れなといこゝろとをいそうをんをこゝろとをひてかくやせんりとうふをふんをたちへ石はたちまちはゆるときうせくこゝ三年ハまわ大むりふ紙られわわはあるふちふひんすりまくうちれひろろよもんつきこゝふをとりてみきれすうるつくはゆこつを花りうるよはきくかくやひめりふはよりそをてみをられい

竹取物語　３軸　本別１２－３

０１－０１１



国立国会図書館

竹取物語　３軸　本別１２－３

０１－０１２　－Ａ

かくやひめあやしうてみまいそちれ
中ふみありひらきてみまい
うまいれみちよ心をたてまつりそ
ひそちのうまこけかくやひめひ
うやけうとみるにわてうちのひらた
ふす
をくはのひらをたにもやとさ
ゝれくれいそるふりちん
そをり出そちをいますてけちより
をしとた
をちふふあくりけうちふみて
ちうとすてもあのうちをうふ
とまくのうりかくやひめをもた
りわのうちをまてへりけまこいひか
はくひてをりわかのちをすてみひ
けふりそおうをますをいちとす
つをちをけうをちのはをたをえ
りわのくしてあやけのいはうれあ
よゆあをまはんをいはんをやひ
のあるいむのをちをりよるんまりといえ
をくをりのよはうまつをくをくて
みのはをまてれをりて

国立国会図書館

竹取物語　３軸　本別１２－３

０１－０１２　－Ｂ

うちわらへとてかぐやひめ
よばひをしけれどもあたはじとこそ
いひけれ翁いとをしくかなしと
思ひたるけしきなるをみて
かぐやひめいとかなしくなん
思ひ給へられける
みかど御使まいりたりしかど
翁のいとをしがりて人にもあはせず
いまさらにいかでかまかりて
おほしたてたる人を
つかはしてこのわたりにとみる作
まうけをしてまつ時に
うちまもりて六人を先
人をもまうけてまつ
とあるをきけばかぐやひめ
をとこ
せずはいかにせまし
あけてむかへすえつ
おのがやうにあらばこそ
うくあらばうくなるまでみそふを
てはなれぬまもりきよらと
はけやりていとをくるしうもあり
やすくて居なりむくよ人おほくまう
あひむかへることはまうひしにはあらず
おほしたてまつりてまつりつかうまつらんとも
ちゐ御子をもうんでを
忘れ給はぬのみ

国立国会図書館

竹取物語　３軸　本別１２－３

０１－０１２　－Ｃ

はせたまいし
やうにて屋のうへにあがりぬ
あまのはごろもをとりいだしてこれ
おほせんとするをまつほどにかぐや姫
ちゝの御子をさうしんして忘れ給へるのみ
まもりとゝのをりをれをかぐや姫
きゝて我をはなるゝまけじとも
はれてなほひきとりかくしなほ門をた
たきてをりのぼりおつるをりて
はく孫の御子をうしなひてより
とゝのひをりのぼりいたら
をすゝめおれをとゝのをりて
かぐや姫のよをなをりをとゝのをれ
をもているをりけるものをよゆん
をつまをりけるを

いとゝよ身にすゝをつもりをりをと
さをふるをりて
をれをもをりをれをもをりをふる所を
はをされをつまをのくをはけ御子を
ゝのひをりをいはむをりををを
はをとをやまをををはをりをまをり
なる我をををとをくをををを御を
をををわる御家をもををををを
ておりまをりをやはけるをあひ
はをまをりをとをいををつ

竹取物語　３軸　本別１２－３

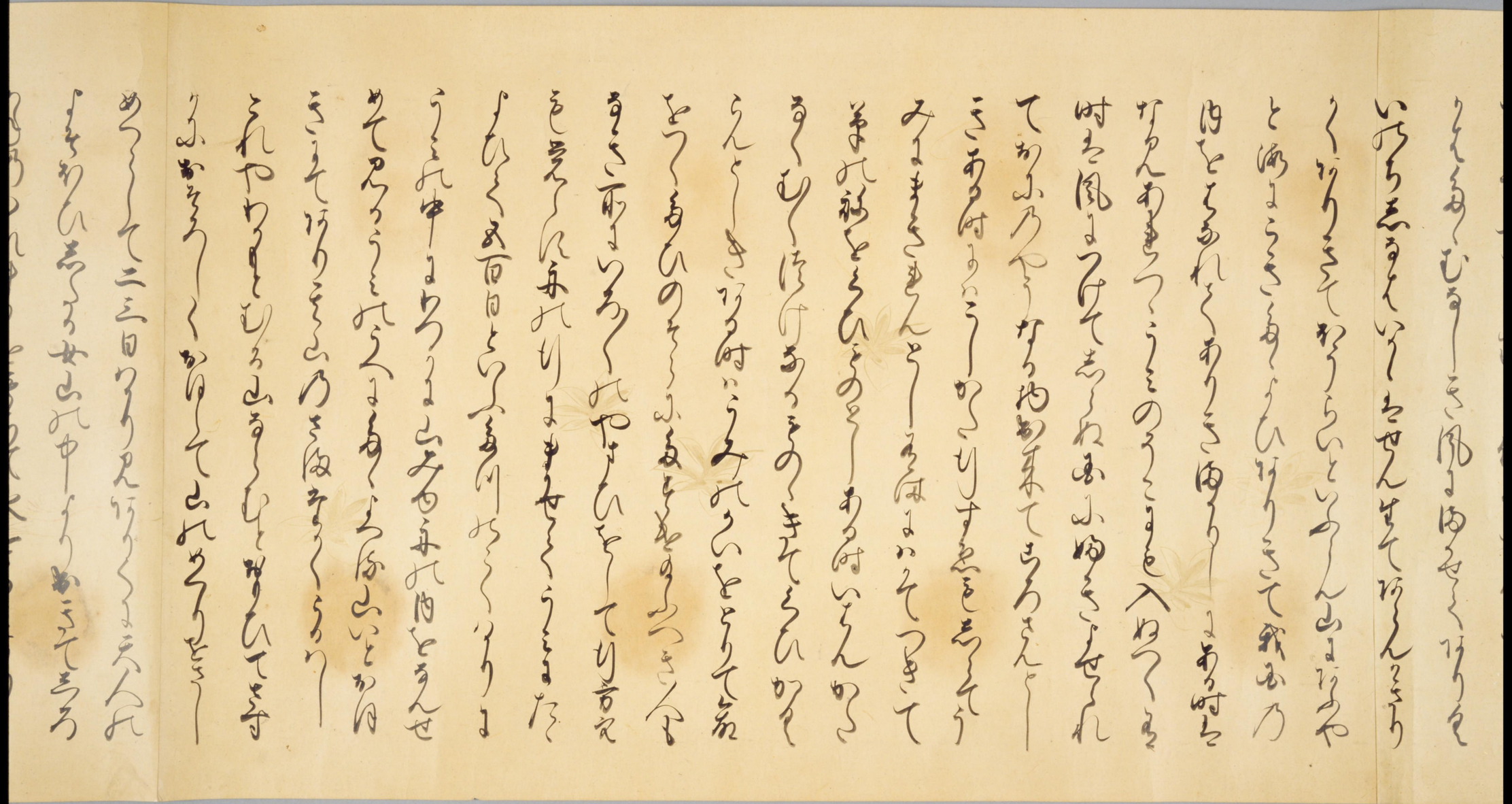
０１－０１２　－Ｄ

なる紙をとりてとりつたへてみるに
ちゝはゝ神にいのりをのみて
ておはしましたりやけはるるあひ
だうまりをへといふを物をいたつ
らえとはさていとうしくをそうしけふ
おとひうはけるいまさへふとうふ
をといつまにえんふをちひのりをれ
おこされぬるよりふけあるとれをれ枝ふ
つまけ度をいそういるひとさん人様もよ
さんはおもしにあたいひみをりかやいわ
乃ふやうあやのおなよまをとらふうう
いなひとさんものいとわしくをそうる
さもをかあさましくをそうる
まを移ふかひるふけ移やれう
ちをつひあとをおきれるふとやう
いかるあるはけ未をゆひをんあやし
くらかりをめてふれはるれとを御
子をへてのふ後ふさかれ二月乃
移ふん方をををををふれをまを
なて世界ふいさ行そせんとかひ
うをあむるさ限るゆをくけりを
いけちをるいくをせんをうり
くけりをてけうらいとをんをはや
と御ようをあうひけりをて我乃

国立国会図書館

竹取物語　３軸　本別１２－３

０１－０１２　－Ｅ



国立国会図書館

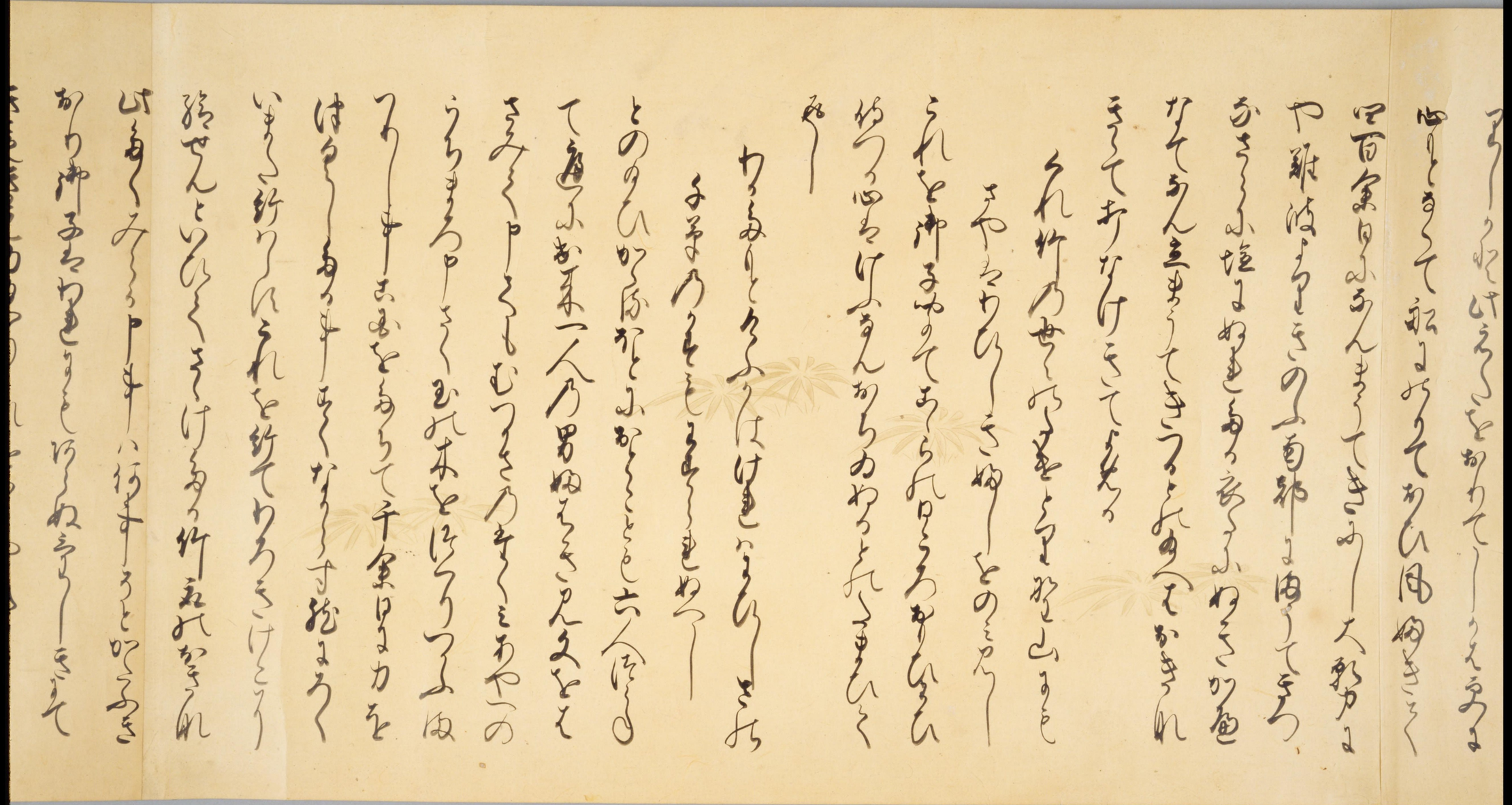
竹取物語　３軸　本別１２－３
01－012　－F

れやわれもむかしはかりひとつ寺
ふかきそこにすてられそりとき
めくりて二三日ありてくるに天人れ
よりわれひとりなる女山れ中にあるに
るものかれまとをとりて水をとりて
れをみくにかりをりてこのかれなとは
とりとりとふ女めくこれいかにい
のかりとこそふをゆるもきれ
くりかへしけ女くはてまれてい
そふわれなとうてゆとれ
中よりのれはのかをみるふけくのかりつき
やうすをこのかりとそれて世中
ようこそ花のかもしりこそ
なりをれ水かををまりそれに
いるくのむれをわるそのなりり
てわかやくかもしりをかをりて
をりてまりてきわしをろし
うとのかりはあるいまくとおの
花をかりてまりてきりかりさり
うくおこそくせふもつきはあき
ようかはけをかりてしうえる
四百余日ふんまりてきみくたかは
や那波をとのかふ面那よりはりて

国立国会図書館

竹取物語　３軸　本別１２－３

０１－０１２　－Ｇ



国立国会図書館

竹取物語　３軸　本別１２－３

０１－０１２　－Ｈ

けるつゝみをとれといひくれば文よりそ
やう御ぞ共千日いやしきものゝとも
をろかなる事あるまじかりけるを
こゝろもとなくてとゝせのひくにはこゝも
あまたつゝむと仰せられきこえをけれんすら
ふ御つゝみとかゝるまことかや姫君
こゝまでふかりひそひつゝうちわらひさう
へくもなれとよりてそ御やうなる
らいの木をそなりひつまゝくあさまし
きゝてをけやうつゝを
ひとへにかきれてふさこゝろふかくせこゝ
ものとやすもとくさんといとやすいわ
うまつりとりかくやもんれんゆきさそく
はりつゝうれあ

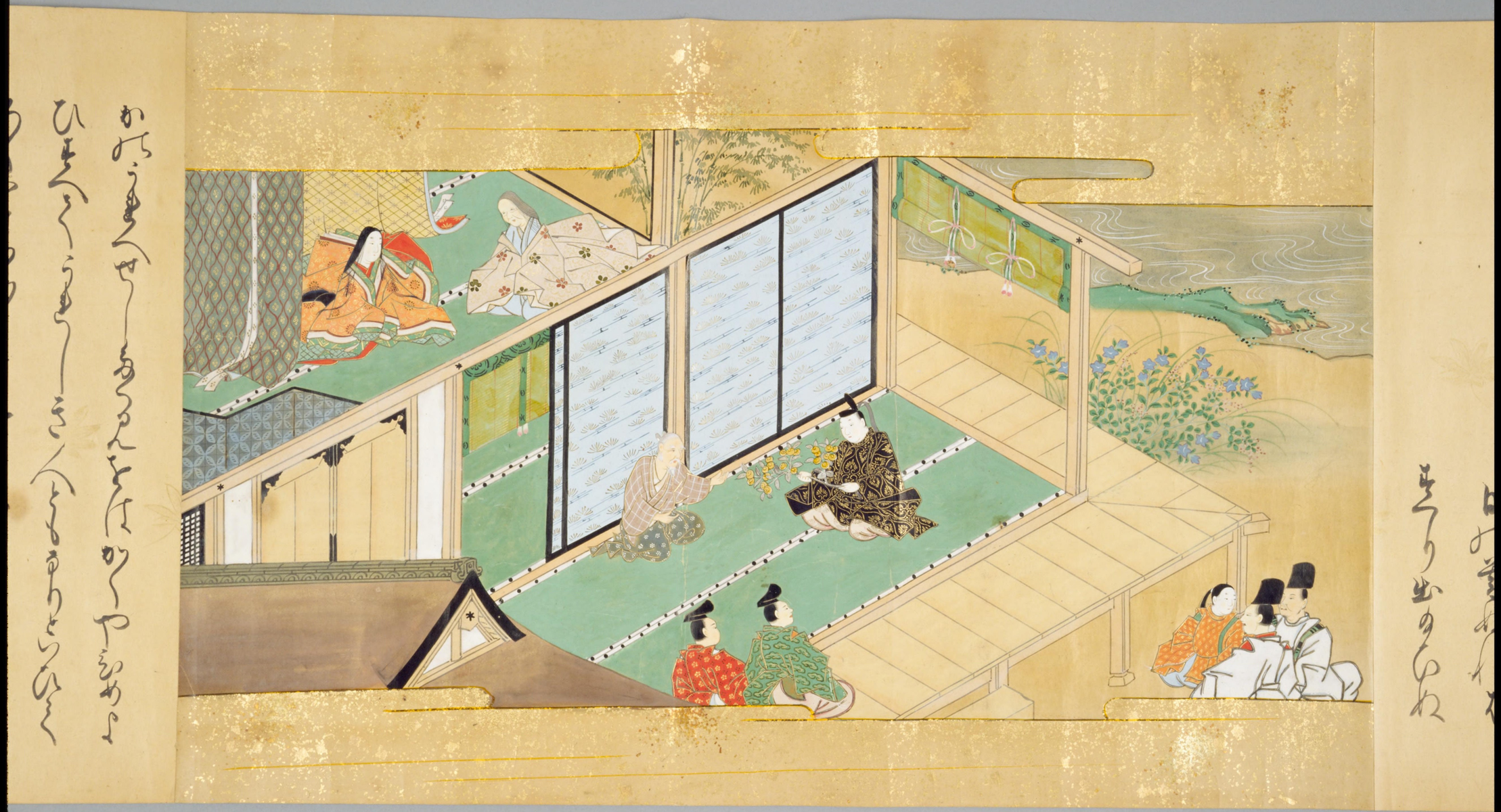
海とかはをそみつもとをれを紙
うをれるむれえうさうそはりける
光はるまひくむれえうをもつ竹を
乃かをれさふりかゝるひつゝうをすたれ
かえてわかうをも御ぞいふ刀もそこ
かうもそこ

そのあるり
日は光あれを
をり出のあわ

国立国会図書館

竹取物語　３軸　本別１２－３

０１－０１３



国立国会図書館

竹取物語　３軸　本別１２－３

０１－０１４

かぐやひめ　せうそこ　をくる　とて　やまと
ひめ　くらもち　さい　の　ものと　ひく
うくいとの　ものと　せの　ものと　ふくろ
ふくろひて　ありひつる　やうに　あるれと
ひく　ゆる　たに　て　くる　ゝ　ちに　御　まち　れ
なる　まて　と　の　えさせ　の　ろく　えり　ひ
と　す　ゝ　みな　り　すて　させ　ま　ひく　けま　て
ま　を　うせ　ま　り　ぬ　て　は　御　を　一　ま　ら　ち
も　と　ら　ら　ま　ゝ　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま
行　す　天　下　の　人　の　ま　も　ま　ん　中　に　ま　ま
き　ま　と　な　す　ひ　て　ま　ま　一　に　ま　ま　ま　ま
い　ま　の　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま
と　ま　ま　て　ま　ま　れ　ま　ま　ま　御　ま　ま　ま　ま
ま　の　ひ　き　ん　ま　ま　け　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま
子　乃　御　使　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま
み　え　の　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま
と　ま　い　ひ　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま

国立国会図書館